



大学入試センター試験まであと2ヶ月！

来年1月13日・14日に実施されるセンター試験まで、本日11月13日で2ヶ月（61日）となりました。最終確定志願者数は公表されていませんが、受付最終日までに到着している分が昨年比で約1万2千人減少しているため、今回の確定志願者数は56万人程度と予想します。指宿高校の3年生が力を出し切れるように、指宿高校全体で支えていきたいと思っています。後輩の皆さんも、先輩の頑張る姿をみて続けましょう。

「先輩と語る会」が11/21(火)に実施されます

全国で活躍されている卒業生のお話を聞くことにより、母校への愛着を高め、将来への希望を膨らませることを目的に実施されます。講師は、次の5名です。

小園雅孝氏（昭和49年卒） 三菱地所株式会社（不動産総合デベロッパー、横浜ランドマークタワー・福岡天神イムズ・プレミアムアウトレット（九州では鳥栖）の所有や経営などを行う）にて、経理をスタートに総務、PFI事業（＝公共施設を民間で資金を用意し、建て、官に賃貸し、運営する。）などに携わる。現在は、横浜みなとみらい地区40数棟に温水や冷水を供給する日本最大規模の地域熱供給会社に勤務。

西炯子氏（昭和60年卒） 都留文科大学国文科卒業。雑誌『JUNE』の「竹宮恵子の漫画教室」へたびたび投稿し、高校在学中の1986年に採用掲載されデビュー。その後、教員をしながら作品を発表する多忙な生活を経て、漫画家として独立する。プチフラワー、月刊flowersをはじめ、多誌で活躍中。2006年に「STAY～ああ今年の夏も何もなかったわ」が古田亘監督により、2015年に「甥の一生」が廣木隆一監督により実写映画化された。

八木精一郎氏（昭和60年卒） 丸紅ケミックス株式会社（総合商社丸紅における化学品分野の中核事業会社、材料研究開発の受託合成請負など化学品の専門商社）に勤務。入社以来営業一筋で、現在東京有機化学品第一部部長。国内取引、貿易業務、今まで約40カ国との取引経験あり。京都外国語大学英米語学科卒業。指宿高校では、野球部主将・生徒会体育部部长などを務めた。

尾辻大作氏（平成4年卒） 竹中工務店（東京タワー・日本武道館や5大ドーム球場などを施工する総合建設会社（ゼネコン））に入社し20年目。20年のうち14年間は営業系の職務。現在は企画開発の営業担当。鹿児島では、鹿児島七ツ島メガソーラー発電所、南国アネックスビル、中央駅前一番街の再開発などを担当。プライベート活動で、フィリピン学校寄贈計画ボランティアを行っている。

向吉三郎氏（平成5年卒） 西日本新聞社（西日本新聞とスポーツ紙の西日本スポーツを発行し、福岡県内で発行部数のシェアは首位）のスポーツ記者をしており、現在は東京五輪担当&サッカー担当（J2アビスパ福岡など）。これまでの主な取材歴は、2002年サッカーW杯・2006年ソチ冬季五輪・2012年ロンドン五輪・2016年リオデジャネイロ五輪など。その他、世界陸上、世界水泳なども取材している。

山口和士先生進路講演会感想文その3

この講演を聞いて自分は変わるんだ、いや変わるということ決意しました。はじめて聞いたことが、今日はたくさんありました。僕は苦手な教科を後回しにしてしまっただけで、結局できないんだと自分で諦めてしまうことがこれまでにたくさんありました。しかし、苦手な教科の克服に努めるために、山口さんから教えてもらった10ヶ条を参考に学習に努めたいです。僕は、鹿児島大学にいきたいという想いは強くあります。しかし、いけるか分からないということを考えてしまいます。でも、僕は自分が行きたいという道に突き進んでいきたいです。そうして作業療法士という大きな夢を叶えるんだという強い志をもって高校3年間を過ごしていきたいです。そのために、僕はこの夏休みを充実させたいなと思いました。これまで以上に授業に集中して、わからない所があったら必ずその教科の先生に教えてもらうようにしたいです。今日は、お忙しいなか本当にありがとうございました。(1年男子)

“諸君こそ我が同志、この日本のためにやってやろうじゃないか”先生が私たちにに向けておっしゃった最後のこの一言がずっと頭に残っています。先生のお話を聞いて、一番印象に残っているのが「人は変えられる」ということです。今からでも全然遅くないと、胸をはって言ってくださったので、とても嬉しく、また心強く感じました。私はいつも要領が悪いと言われる。勉強も、たくさんやってもあまり結果は良くなり、一番に言われるのがそれです。私には1つ下の弟がいるのですが、弟はとても要領が良く、軽く勉強しているだけなのに、いつも良い成績を取ってきます。そんな弟が羨ましくて、できない自分が嫌いで、よく落ち込んでいます。でも先生は、人はいつでも変われると、自分ができたんだからあなたたちにもできると、言ってくださいました。先生のお話を聞いている中で、いつの間にか笑顔になっている、どこか自信が出てきている、そんな自分がいることに気づきました。先生は、お話をしている間、一回も私たちを上から見たりはしませんでした。あんな暑い中でも上着を脱がず、対等な立場で、私に勇気をくれました。私には叶えたい夢があります。その夢に向かって、一歩ずつでも進めたらいいなと思います。本日は本当にありがとうございました。(1年女子)

今日聞かせてくださった話、特に各学年に向けたアドバイスでは、指宿高校の先生方がよくおっしゃっていることが含まれていた。この機会に先生方からの話を聞くだけでなく、自分がどう変わるべきかを考えながら聞いて、勇気ある行動や選択をしようと思った。私は今、多くの自分の可能性をつぶしていることに気付いた。夢が決まっている、勉強する分野が決まっているからといって、ただただ勉強するだけでなく、さまざまな方向から自分が出来る最大限のことをして、本当に将来に役立つことを知りたいと思った。指宿高校に入り、良い人たちに恵まれ、今回のような素晴らしい話を聞けることに私は感謝しています。私は言葉が大好きです。これからは“温かい言葉”をもっと大切にして、温かい人になりたいと思います。ありがとうございました。(2年女子)

今、とても進路のことで悩んでいます。自分の意志の弱いこと、両親との意見の食い違い、勉強、経済面などで考えがまとまりません。でも、今日の講演を聞いて、「自分の人生は自分で考えて自分でどうにかしなければいけない。」と強く思いました。両親に今のところ、将来何になりたいのか、ということくらいしか話していません。具体的なことは自分の中にあるので、それをしっかり面と向かって話そうと思います。両親をまず説得し、味方につけたいです。そして、“未来に繋がる10の指針”を胸に勉強に励みます。家庭学習時間の改善もしていきます。授業もしっかり受け大切にします。自分が直さないといけないところがいっぱいあります。この講演で変わろうと思いました。自分を見直せた貴重な時間でした。ありがとうございました。(2年女子)



本日は暑い中、私たちのためにわざわざ足をお運び、講演をしてくださりありがとうございました。細やかに厚く綴られた資料を頂いた時、一体どのような先生がいらっしゃるのだろうと思いましたが、この国の未来を担う私たちを鼓舞するようなお話を聴くことができて本当によかったです。特に「人は人によってしか変えられない」という言葉は、人と関わる仕事に就きたいと考えている私にとって、とても納得するものであり、しっかりと肝に銘じておこうと思いました。本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。(3年女子)